トピックス

東京電機大学滋賀グループ今年も汗・あせ!

東京電機大学の滋賀秀美教授のグループは木下･六軒に残る蔵や町家を使って、歴史的建造物を肌で学ぶ研究を毎年行っております。

今年は、武蔵屋の湯殿がだいぶ痛んでいたのに目をつけ活用できるように復元しようと試みました。ついこの間までどこにでもいる高校3年生だった大学1年の約10人が、他の学生がアルバイトや遊んでいる夏休み中、熱中症で倒れる子もいたほどの熱い時に土台作りや瓦下ろしなどすべて手作業で行いました。計画では足湯としてよかっぺ夢まつりに一般公開する予定でしたが、家を一軒建てることは容易なことではなく、2年越しの計画に変更となりました。 なお、今回も「木下まち育て塾」では、協働として中央公民館でお昼を作ってあげたり、途中の打ち上げの時に差し入れを行いました。来年度皆さんに公開できるようバックアップしていきたいと思います。

木下小学校と木下まち育て塾との「絆」

マイタウンマップ・コンクールで木下小学校の５年生が環境大臣賞を受賞した作品を吉岡まちかど博物館に展示

平成 20 年 3 月に地域情報をインターネット上で共有し合う「第 14 回マイタウンマップ・コンクール」で、印西市立木下小学校の５年生が、環境大臣賞に輝きました。５年生が６グループに分かれ、地域で活動する市民団体と一緒にまちづくり、まちおこしについて「自分たちにできることは何か」を考え「木下アクションプラン」を練ったもの。地域で活動する市民団体の一つが我が「木下とまち育て塾」。作品の一つ「明治４０年頃の木下の町並み絵図」を現在吉岡まちかど博物館に展示しています。

編集後記　今年度は、木下まち育て塾の結成５周年でもあった。昨年合同展をやって張り切りすぎたためか、マンネリになってしまったか、自分が仕事の異動で参加する機会が減ったか、私を含め会員の動きが鈍ってみえた一年のような気がした。来年度は、私も勿論会員一人ひとりが「私がやらなければ!」という気持ち（志民）をもう一度もって爆発してほしいと思います。志民のこころざし!　BY おてつ

木下まち育て塾連絡先 090 - 3529 - 4990 伊藤